

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 丸五ゴム工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710-8505 倉敷市上富井58番地	
本票作成	部署名：品質保証部 品質企画・監査課				
主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業		
事業の概要	工業用ゴム・樹脂製品の設計・開発・製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	矢掛工場		小田郡矢掛町東川面 417	
	②	倉敷工場		倉敷市上富井58番地	
	③	矢掛江良工場		小田郡矢掛町江良2220	
	④	水江物流センター		倉敷市水江1599	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 4 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス	基準年度(令和 5 年度)	(令和 6 )年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
排出量	20,424 t CO <sub>2</sub>	18,961 t CO <sub>2</sub>	20,625 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6 )年度排出量
	①	矢掛工場	9,391 t CO <sub>2</sub>
	②	倉敷工場	9,016 t CO <sub>2</sub>
	③	矢掛江良工場	504 t CO <sub>2</sub>
	④	水江物流センター	47 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 ( 1 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 6 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	7.2 %	△1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	基準年度	( 6 )年度	目標年度	
	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

## 【削減状況の自己評価】

売上の減少と、エアリーク検知器の導入、蒸気配管、加熱機器の保温 蒸気漏れ改修によるCO<sub>2</sub>排出量低減施策の実施、効果もあり、目標を達成した。

【推進体制】

- ・国、顧客、業界団体などからカーボンニュートラルの取り組み要求があり、取り組みを推進するための全社組織として、社長のトップダウンの下、2023年7月環境管理委員会の下に「CN推進部会」を設置した。また、様々なニーズ、課題に対応するため、推進部会の中でワーキンググループ(WG)を分けて活動中。
- ・顧客要求に対応するため、WG横断の製品CO2検討グループを2025年1月に設置した。
- ・ISO14001を推進し、社目標にCO2削減を掲げて取組んだ。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①矢掛工場	(令和6年度実施分) 蛍光灯更新 LED化 (CO2削減量 7 t) 蒸気配管、加熱機器の保温 蒸気漏れ改修 (CO2削減量 19.1 t) (今後実施予定分) 蒸気漏れ修理、蒸気配管・機器保温修繕 (CO2削減量 35.4 t) ボイラ - 更新 (燃料転換 重油→LNG) (CO2削減量 1,445 t)
②倉敷工場	(令和6年度実施分) 変圧器更新 (CO2削減量 7.5 t) エアリークビューワーを用いたエア漏れ箇所改修 (CO2削減量 32.2 t) (今後実施予定分) 水銀灯・天井照明のLED化 (CO2削減量 32.2 t) R22冷媒ガス使用のエアコンの更新4台 (CO2削減量 34 t)
③矢掛江良工場	(令和6年度実施分) 変圧器更新3台 (CO2削減量 2 t) (今後実施予定分) ゴム成形機更新による低減 (CO2削減量 3 t)
④水江物流センター	(令和6年度実施分) 節電による電力量の低減 (今後実施予定分) 節電による電力量の低減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	農地に頼らず家庭栽培も可能なモリंगाの鉢植栽培の検討実施。(100kg-CO2/年×10鉢=1t-CO2/年) 冬季は鉢植を社内ボイラー室へ移動し、越冬実験を行った。(10鉢中6鉢が越冬成功：～'25年春)
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	今後実施予定：自家消費用太陽光発電の設置 (矢掛工場)
その他	無	

【その他特記事項】

<p>・モリंगा【今後の取組み】</p> <p>①越冬させたモリंगा栽培実験 ②社内活動としてモリंगा鉢植栽培数拡大 ①+②=30鉢 (3t-CO2/年)</p> <p>③希望した従業員へモリंगाの種配布 (従業員宅で栽培)</p> <p>・環境方針を改定し、「カーボンニュートラル実現を目指し、温室効果ガスの排出削減などに取り組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献する」として、全社を挙げて取り組んでいる。(全社)</p> <p>・当社のCO2排出量目標として2030年までのロードマップを作成した。(全社)</p> <p>・社内「環境教育」を行い、カーボンニュートラルやCO2排出抑制の取組みを従業員に周知した。(全社)</p> <p>・QC提案にて従業員から省エネ提案を実施して貰い、社内の節電に取り組んでいる。(全社)</p>		
---	--	--